

電事連会長 定例会見要旨  
(2010年11月12日)

会長の清水です。本日は、電事連会長として2点申し上げます。

1. ベトナムからの原子力プロジェクトの受注合意

まず、ベトナムからの原子力プロジェクトの受注に向けた合意についてであります。

皆さまご案内のとおり、先月31日にハノイで開かれた首脳会談において、ベトナム・ニントゥアン省の原子力発電所建設の協力パートナーに、日本が選ばれることが決定いたしました。

私ども電力会社、国、メーカーが一体となった受注活動が実を結んだことに、大変勇気づけられると同時に、うれしく思っております。

改めて、日本政府をはじめ関係者のご尽力とご支援に御礼申し上げます。

このたびの合意は、新興国への原子力輸出の歴史的な第一歩であり、「新成長戦略」の柱である「パッケージ型インフラの海外展開」の試金石になる大変重要なプロジェクトであります。

本番はこれからです。今後は、日本原子力発電が、導入可能性調査を実施すると同時に、電力9社とメーカー3社、産業革新機構で設立した「国際原子力開発」が中核となって、建設・運転・保守に関する詳細な検討を進めて行くこととなります。

原子力発電所の輸出は、契約の受注から運転開始まで約10年、運転期間を含めれば60年～70年にわたる超長期かつ大型プロジェクトであり、日本の高い技術力やノウハウの提供に加え、二国間原子力協定の締結や安全規制の構築など、民間ではできない基盤整備が必要不可欠であります。

私どもは、長年にわたる運転・保守の経験を活かして、ベトナムの原子力発電の安全性・信頼性の向上に貢献できるよう業界を挙げて取り組んでまいりますが、政府には引き続きご支援・ご協力をお願いしたいと思います。

2. この冬の電力需給の見通し

つぎに、この冬の電力需給の見通しについてご報告いたします。

お手許の資料1のとおり、この冬の10社計の最大電力は、気象庁の3ヵ月予報や過去の実績等を踏まえて、1億5,533万kW程度と想定いたしました。

これに対する供給力は1億8,378万kWで、約18%の予備率を見込んでいることから、安定供給は十分確保できる見通しです。

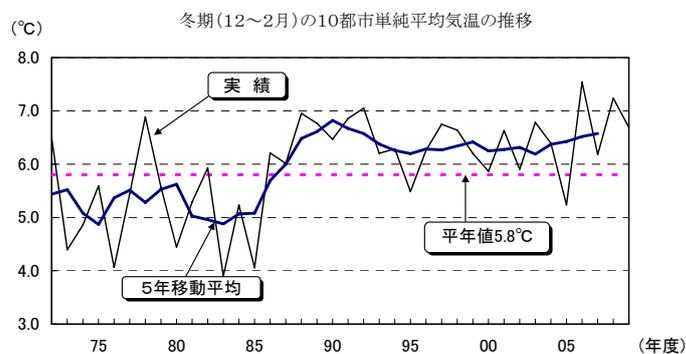
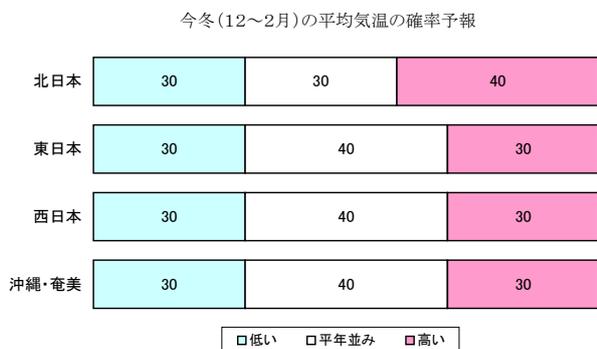
私からは以上です。

以 上

## 今冬の電力需給の見通しについて

### 1. 今冬(12月～2月)の気象見通し

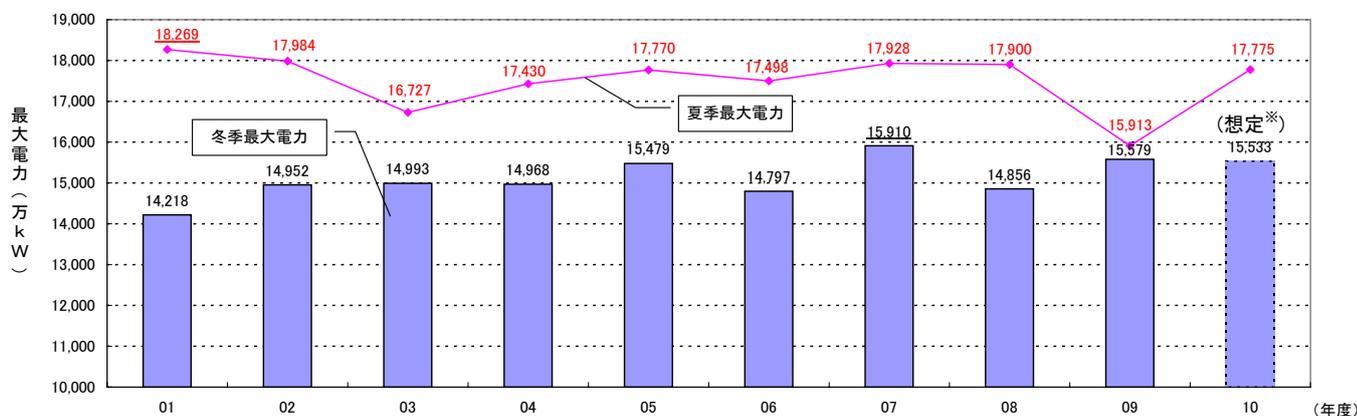
気象庁から発表された今冬の気象予報によると、平均気温は、北日本、東日本、西日本、沖縄・奄美ともに「低い」「平年並」「高い」確率が30%～40%の予想となっている。



### 2. 今冬の最大電力想定と供給力(発電端10社合計)

最大電力 (A)	1億5,533万 kW
供給力 (B)	1億8,378万 kW
供給予備力 (C) = (B) - (A)	2,845万 kW
供給予備率 (D) = (C) / (A)	18.3%

### 3. 最近の最大電力の推移



	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度
発生日時	12月21日 (17時)	1月29日 (18時)	1月22日 (18時)	2月1日 (18時)	12月19日 (18時)	1月11日 (18時)	2月13日 (19時)	1月15日 (18時)	1月14日 (18時)	—
最大電力 (万kW)	14,218	14,952	14,993	14,968	15,479	14,797	15,910 (過去最大)	14,856	15,579	15,533※
対前年増加量 (万kW)	▲ 759	734	41	▲ 25	511	▲ 682	1,113	▲ 1,054	723	▲ 46
対前年伸び率 (%)	▲ 5.1	5.2	0.3	▲ 0.2	3.4	▲ 4.4	7.5	▲ 6.6	4.9	▲ 0.3

※ 09年度までの実績値は発電端1日最大、10年度冬季最大電力の想定値は発電端3日平均